

## 大分市総合計画検討委員会 第5回 産業部会 議事録

◆ 日 時 平成27年11月10日(火) 14:00～16:00

◆ 場 所 アートプラザ 2階 研修室

◆ 出席者

### 【委員】

矢野 利幸 部会長、磯田 満 委員、井上 昌美 委員、荻本 正直 委員、  
佐藤 泰副 委員、園田 孝吉 委員、高倉 大暉 委員、早瀬 康信 委員、  
松尾 竜二 委員、吉岩 寿和 委員(計10名)

### 【事務局】

企画課 参事補 雨川 陽之、同主任 大野 洋造(計2名)

### 【プロジェクトチーム】

産業振興課 参事補 朝見 哲也、農林水産課 専門員 末光 誠太、  
商工労政課 主任 安部 順司、観光課 主事 佐藤 優介(計4名)

### 【オブザーバー】

産業振興課

### 【傍聴者】

なし

◆ 次 第

1. 開 会
2. 議 事
  - (1) 第4回の意見についての回答
  - (2) 中間提言書(案)について
  - (3) その他(次回の日程等)

<第5回 産業部会>

事務局	<p>こんにちは。本日は、委員の皆様方には、ご多忙の中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>定刻より少し早いですが、皆様おそろいということですので、ただいまから大分市総合計画検討委員会第5回の産業部会を開催いたします。</p> <p>なお、本日、岡野副部長、安部委員さん、坂井委員さんは都合によりご欠席とのご連絡をいただいております。</p> <p>本日の部会の内容ですが、お手元に配布しております次第のとおり、初めに、前回の第4回の産業部会にて委員の皆様からいただきましたご意見、ご質問についてご報告した後に、これまで4回にわたって開催してまいりました部会での皆様のご意見等を踏まえまして、本部会の中間提言（案）のご検討をお願いしたいと考えております。</p> <p>議事に入ります前に、中間提言の位置づけについてご説明いたします。</p> <p>今後、市では、委員の皆様からいただいたご意見を踏まえまして、総合計画原案を作成し、パブリックコメントを実施することにより、広く市民の皆様からご意見を募ることとしております。</p> <p>そこで、総合計画原案の作成に当たり、計画策定の具体的な考え方、また、施策の方向性を明確にするため、つまり完成度の高い原案に仕上げるために、これまでの各部会での主なご意見等を箇条書きに整理した形で中間提言として取りまとめ、市長に報告をしていただくという形になっております。</p> <p>なお、来年の2月末に予定しております最終提言につきましては、この中間提言をベースにするとともに、パブリックコメントの結果も踏まえる中で作成されることとなりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>この部会で議論するのは中間提言の最終形までを議論していただくことになっておりますので、最終提言につきましては、各部会からの代表者、部会長、副部長による部会代表者会議の中で詰めてまいりたいと考えております。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入らせていただきますが、議事の進行につきましては、検討委員会設置要綱第7条第4項に基づき、部会長をお願いしたいと思います。</p>
部会長	<p>委員の皆様方には、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>第5回目になりまして、大変タイトなスケジュールの中での5回というのは、本当に皆様方にお礼を申し上げたいと思います。</p> <p>それでは、次第に沿いまして早速進行させていただきたいと思います。</p> <p>まず、第4回の意見についての市からの回答のご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>はい、それでは、第4回の産業部会にて委員の皆様からいただきましたご意見、ご質問について簡単にご報告を申し上げます。</p> <p>「大分市総合計画検討委員会産業部会での意見及びこれに対する市の考え方」をご覧ください。資料のない方等はいらっしゃいますか。よろしいですか。</p> <p>それでは、順番にご説明を申し上げます。</p>

まず、起業者を増やすためには利益が出せる仕組みが必要であるというご意見に対してですが、起業者に対する支援は、資金調達や販路開拓、経営課題解決に向けた人的資源など、関係機関との連携を強化し支援をしてまいります。

続きまして、創業者数が増えることよりも企業が利益を出していくことが重要。製造品種、価格や従業員数の伸びは利益と少なからず関係があるのではないかというご意見につきましては、既存企業が利益を出していくために、技術力の向上や経営基盤の強化、販路開拓などの支援策を充実させていきます。

また、創業、起業と新しいものに重点を置いている記載に見えるが、既存企業が事業を継続し、最先端であり続けるためには再投資が必要なので、このような記載も必要ではないか。また、既存企業が大分市で事業を続けたいと思う取組が必要というご意見に対してですが、既存企業の事業継続に向け、企業の新設だけでなく、増設等の設備投資についても取り組んでおりますことから、主な取組にて記載してまいりたいと考えております。具体的な記載内容については検討をさせていただきたいと思っております。

続きまして、製造業の従業員数は正社員のみのカウントで間違いはないかというご質問に対してですが、これに対しては、非正規職員を含む数字でありましたので、訂正をさせていただきます。

1枚はぐっていただきまして、子供を産み育てながら継続して働ける環境や介護しながら働ける環境をつくるべきというご意見に対してですが、安心して働き続けられる環境をつくっていくためにも、福祉施策と連動した取組を進めてまいりたいと考えております。

続きまして、グラフについてのご意見ですが、記載内容に沿った形でデータを追加してまいりたいと考えております。現時点でどのデータをとるのがお示しできない状況ではございますが、記載内容に沿った形でデータを追加させていただきたいと考えております。

また、就労支援の取組とシルバー人材センターの指標が対応していないのではないかと。また、その他の指標も加えるべきではないかというご意見ですが、これにつきましては、シルバー人材センターの指標は高齢者雇用に関する指標として設定しておりますので、新しい指標としてUIJターンによる就職件数を追加したいと考えております。

主な内容については、担当のほうからご説明をさせていただきます。

事務局

前回の委員会の中で、雇用に関する指標としてシルバー人材センターの契約金額と勤労者サービスセンターの会員数を設けておりましたけれど、目標値が総合計画の取組に合致した指標を掲げる必要があるのではないかと、それから、市の施策の効果として導き出せるような数値を指標として設定すべきではないかというご意見をいただきました。

事務局で検討した結果についてご報告をいたしたいと思っております。

目標値の資料、タイトルが「第3章 安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実」をご覧ください。

事務局では、一つの指標値の案としてUIJターン就職件数を考えております。広く一般的なUIJターンの就職者数というのを把握、捕捉していくことというのはできま

事務局	<p>せんが、大分県が県内中小企業の人材確保、定着を支援する拠点として大分産業人財センターという施設を開設しておりますので、その数値を活用したいと考えております。</p> <p>この大分産業人財センターでは、東京、大阪、福岡、大分にそれぞれ相談窓口を設け、県内へU I Jターンの就職を希望する人材の開拓を行うとともに、企業へのあっせんを行っております。このU I Jターンの就職件数は、この大分産業人財センターの利用登録者のうち、本市に就職した件数を目標として掲げたいと思います。現在、本市におきましては、この産業人財センターと連携した取組は行っておりませんが、来年度から連携した取組を進めていくということで既に大分県とも協議を進めておりますことから、こういった指標を設定できないかと考えております。</p> <p>目標値につきましては、平成26年度実績38人と書いております。これは、現在市では取組を行っておりませんが、産業人財センターが持っている数値で38人、登録者が187人のうち、就職に至った件数が66人で、そのうち大分市に就職した件数38人が平成26年度の実績であります。この実績値から見まして、平成28年から各年50人を目標といたしまして、4年間で200人を目指していこうと考えております。</p> <p>目標値につきましては以上であります。</p> <p>それでは、続きまして、質問、また、意見の回答をさせていただきます。</p> <p>統計で見るだけで単純にミスマッチだと考えるべきではない、使用者側の意見をヒアリングすることも必要というご意見につきましては、中小企業の100社訪問や各種経済団体との意見交換会などを通じて使用者側の意見の聴取をし、今後の施策に役立てていきたいと考えております。</p> <p>また、正規雇用の割合が減少しているので、正規雇用の割合を増やすような取組が必要ではないかというご意見ですが、国の助成金の周知や正規従業員を対象とした研修補助制度などを実施し、正規雇用の割合の増加につなげてまいりたいと考えております。</p> <p>また、大分市の中で就職できる市内での就職率などを新たな指標として追加してはどうかというご意見に対しましては、市内の就職数全てを把握するというのが難しい現状がございますので、先ほどご説明いたしましたU J Iターンによる就職件数を目標指標として設定をしたいと考えております。</p> <p>1枚はぐっていただきまして、若者が市外に出ていかないよう、若者が働きやすい環境を構築することが必要。全体として高齢者を中心に書かれているように感じるというご意見に対してですが、多様な就労の場を確保し、キャリア形成に資する補助制度の実施など、勤労者福祉の充実を図ることで雇用環境の整備を促してまいりたいと考えております。</p> <p>続きまして、女性の就業率アップについても記載できないかということですが、女性の就業につながるよう、相談体制の充実やセミナーの開催など、働く意欲のある方を支える取組を進めていきたいと考えております。</p> <p>また、目標指標については他力本願にならないよう、市の施策の効果として導き出せる数値を設定すべき。若者に力を入れるのであれば、記載の順番も入れかえることが必要なのではというご意見に対しては、指標としてはU J Iターンによる就職件数、また、記載の順番はご指摘のとおり修正したいと考えております。</p>
-----	---

1枚はぐっていただきまして、観光宿泊客数はどのように捕捉をしているのか、また、知名度の高い観光大使による情報発信は今後も積極的に活用していただきたいというご意見に対してですが、宿泊客数は宿泊施設に調査を実施しておりますが、ビジネス客と観光客の区別は現在できておりません。観光大使の活用につきましては、その発信力を生かすために、今後も活用してまいりたいと考えております。

続きまして、ブログやフェイスブックなど発信力のある人を活用したPRを行うべき、また、インバウンド観光につきましては、ターゲットを明確にした大分市の個性を発信すべきというご意見に対してですが、観光大使をはじめとした発信力のある人材の活用は今後も関係機関と連携を図り、実施してまいりたいと考えております。また、韓国、台湾をメインターゲットにしつつ、ビザ要件が緩和された今後の誘客が見込める地域への誘客も進めてまいりたいと考えております。

続きまして、ラグビーワールドカップでは多くの外国人が来ることが予想されるが、傾向から2人以上で来る方が多いと思われる。大分市のホテルのキャパシティが足りないのであれば、空き家を活用した民泊やホームステイの活用も検討すべきというご意見に対してですが、宿泊については、現在さまざまな宿泊方法がございますが、いただいたご意見を今後の施策の展開の参考にさせていただきたいと考えております。

続きまして、2002年サッカーワールドカップ時のホテルが足りていたのかというご質問に対してですが、サッカーワールドカップ時、市内のホテルにつきましてはほぼ満室となっております。しかし、周辺市町村に宿泊されたサポーターの方も多く、大きな混乱にはならなかったということです。また、国体開催時にホテルが増設されるなど、客室数につきましては当時よりも増えている現状でございます。

続きまして、大銀ドームへのアクセスが悪いので、検討すべきではないかというご意見についてですが、イベント時にはシャトルバスを走らせる等臨時的な対応をしております。今後はシャトルバスの周知徹底に力を入れてまいりたいと考えております。

続きまして、外国人観光客誘致への取組、受入体制の整備としての具体的な取組や予算がどれぐらいなのか、また、携帯電話等の無料充電スポットなどを設けるべきではないかというご意見に対してですが、外国人観光客誘致への取り組みは284万円今年度計上しております。また、外国人向けのWi-Fiの整備につきましては、ハード・ソフト両面の予算を5,500万円計上しております。このほかにも、案内板の改修など多言語対応に向けた取組も現在進めているところでございます。携帯電話の充電スポットにつきましては、イベント開催時など今後の参考にさせていただきます。

最後になりますが、多言語のインフォメーションも必要ではないか、また、免税店等を増やす取組が必要ではないかというご意見に対してですが、Wi-Fi設備や観光パンフレットなど多言語対応に向けた取組を現在進めているところでございます。また、免税店の増加につきましても、支援方法等について今後検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

部会長

今説明をしていただきました第4回に出た意見についての市の考え方等ですが、皆さん方からさらにご意見、ご質問があればお願いしたいと思います。

	(なしの声)
部会長	それでは、2番目の提言書(案)、中間提言について説明をお願いします。
事務局	<p>それでは、中間提言に向けた意見の整理についてご説明させていただきます。</p> <p>先ほどご説明いたしました、前回までに委員の皆様からいただきましたご意見、ご質問をもとに、お手元にお配りしております「産業部会からの中間提言(案)」を準備させていただきました。</p> <p>項目ごとに青い大きな項目がございますが、項目ごとにご説明した後、ご意見をいただきたいと思いますが、事前にお配りすることができませんでしたので、ここで少々お時間をとって、皆さんにご一読いただきたいと思います。それでは、5分程度お時間を設けますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、お願いします。</p>
部会長	忙しいとは思いますが、できれば事前に配付をしてもらわないと。
事務局	大変申し訳ございません。
部会長	どうぞお読みください。
	(中間提言(案)黙読)
事務局	それでは、ご説明させていただいてもよろしいでしょうか。
部会長	よろしいですか。
	(はいの声)
部会長	はい、それでは、お願いします。
事務局	<p>はい。それでは、中間提言に向けての意見の整理についてご説明をさせていただきます。</p> <p>まず、「全体について」ですが、全体については、いただいた意見をもとに、現状または課題を整理しております。</p> <p>①番工業について、企業誘致はもちろんのこと、既存事業所に対する支援策の充実など、既存企業維持の重要性についてご意見をいただきましたことから、現状また課題を、「大分市の産業分野における状況を見ると、工業では大企業の新たな進出など企業立地の予定はなく、製造品出荷額は微増の状況にあるものの、製造業事業所数や製造業従業員数は減少傾向が見られる。既に立地している企業や新たに進出する企業にとって大分</p>

	<p>市に立地する魅力を創出する取組が必要である」と整理しております。</p> <p>続きまして、②番、農林水産業につきましては、担い手の確保や育成の重要性についてご意見をいただきましたことから、「農林水産業では担い手不足や高齢化などさまざまな課題に直面しており、農山漁村の活性化を図るために担い手の確保と育成が喫緊の課題となっている」と整理させていただきました。</p> <p>続きまして、③番として、商業・サービス業においては、周辺部を含めた商店街の振興を図ることの重要性についてご意見をいただきましたことから、「商業においては、経営基盤の強化や商業集積地支援等の商業振興を図っているものの、周辺部を含む商店街組織の機能低下が大きな課題となっている」、また、インターネットビジネスによる流通経路の多様化についてもご意見をいただきましたことから、「高速交通体系の整備や情報通信端末の普及・拡大などに起因する商品流通経路の多様化により、地場卸売商業の経営環境は厳しくなっている」と整理をさせていただきました。</p> <p>④番、観光においては、国内外の交流人口の増加に向けた情報発信や受入体制の整備の重要性についてご意見をいただきましたことから、「観光においては、国内消費の低下が懸念される中、国内外からの交流人口増加に資する取組は重要性を増している。東九州自動車道の大分―宮崎間の開通に伴い、沿線自治体との連携や、観光情報の発信、受入体制の整備など、大分の魅力を生かすような計画の策定が望まれる」と整理しております。</p> <p>1番の「全体について」は以上でございます。</p>
<p>部会長</p>	<p>それでは、1番「全体について」、委員の皆様方からご意見、ご質問もあろうかと思えます。どうぞ、どなたでも結構です。この中で、加筆、追記するようなことがあれば、それも含めて構いませんので、ご意見があれば。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>今説明がありました、その2番の農林水産業、これについて、今ここにありますように、文章的には非常にいいと思うんです。これはもう現実です。ここを一步前に進んだ方がいいんじゃないかと思うんです。これは前からずっとこういうことを言っている。今度、農業委員会が既存の農業者では産地が維持できないということで、新しい人つまり、素人の人をトマト学校で2年間勉強させて一人前にするというようなことをやっているんです。今現在、3期生までやっているんです。それで、今、他の部会から見ますと、生産量もトップクラスです。</p> <p>そういうふうには何か一步前に出ないと、非常にいいことを書いているんだけど、大分市では、生産部会に入っている跡取りになる子供さんたちはいるけれども他の方がいない。米麦では今食っていけないというのがありますし、大分市では、ニラ、大葉、三つ葉、水耕セリは、パートさんを雇用してやっているのが現状です。そういう部会の方々、大きい農家の方々は担い手が確保できておりますけども、ほかの方々、それはもう一握りです。</p> <p>先般も言いましたように、大分市全体で今5,000ヘクタール弱の農地がありますけども、今度TPPが決定されて、外国から多くの農産物が入ってくる時代でございます</p>

	<p>す。我々が一番心配しておるのは、今は、定年退職した人が地域の稲作をやっている現状です。そういう人の高齢化が進んで稲作ができなくなったら、果たして農地の維持ができるのかという点を一番心配しております。ですから、文章的には非常にいいことを書いているけども、この一歩先について何かをしないと、現状は変わらないと私は思うんです。</p> <p>私も、5、6年前に人材育成ということで、家に農地がなかった農大卒業生を、従業員扱いで、3年勉強させました。それでやっと一人前になって自分でやっているのが現状です。</p> <p>要は、技術がないと何をしてもやはり失敗をするので、そういうような技術を勉強できるようなところをぜひ確保してもらいたいというのが私の願いであります。</p>
部会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>全体については総論みたいのところになるので、そういう新たな取組とか入れるとしたら、2番の「特性を生かした生産業の展開について」、2番のその中の②で農林水産業のここの辺に入れるかですね。</p>
事務局	<p>そうですね。今、いただいた意見のように、人材の育成に係る具体的な取組を総合計画の中に記載するというのは難しい部分がございますので、方針として、育てる部分を重点的に書いたほうが良いというご意見として受けとめてよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>ぜひお願いしたい。</p>
事務局	<p>はい、かしこまりました。その点については事務局の中でも検討させていただきたいと考えております。</p>
部会長	<p>では、全体について。</p>
委員	<p>よろしいですか。</p>
部会長	<p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>全体については、1、2、3、4とあるんですけども、1番と4番に関しては、必要であるとか、望まれるとか、そういう何か提言的な言葉を使っていますけど、2番、3番は、分析だけの感じがしまして、これは特に問題はないですか。</p>
事務局	<p>そうですね、全てにこうすべきという記載である必要はないと判断しております。現状の課題等を全体像として書かせていただいた後に、具体的に中身に入っていく際に対応策といいますか、こういった対応をすべきというような形で書くのも手法の一つだと考えております。</p>



委員	わかりました。
部会長	よろしいでしょうか。
委員	はい。
委員	<p>これまで発言させていただいたところを受けとめていただいて、要はどう衰退をとめるかということではなくて、どう夢を持って伸びていくようなビジョンをつくっていく視点が大切だという観点で発言をさせていただいていますので、それを受けとめていただいて出ておりますから、ぜひこのようなかたちで取りまとめいただければと思っています。</p>
部会長	<p>ほかよろしいですか。では、今の若干の修正等を加えて、事務局のほうで検討をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、2番目の「特性をいかした生産業の展開について」お願いをします。</p>
事務局	<p>それでは、第1章「特性をいかした生産業の展開について」ご説明させていただきます。</p> <p>まず、第1節の「工業の振興」では、①番として、企業立地の促進はもとより、既存企業の経営基盤の強化の重要性についてご意見をいただきましたことから、「本市全体の工業振興のためには、今後も産業集積を進めることが必要であるが、その際、省エネ・低炭素化技術を活用した企業などの企業立地の促進、創業支援に加え、既存企業の技術力の向上や経営基盤の強化などの中小企業の競争力強化を支援する施策の展開が望まれる」と整理させていただきました。</p> <p>「農業、林業、水産業の振興」につきましては、②番として、高齢化、担い手の不足などの要因となる問題についてご意見をいただきましたことから、「農林水産業においては、高齢化や担い手不足が深刻であることは共通しているが、それぞれに内在する問題や担い手が減少している背景、解決の方向性などは様々である。それぞれの問題を的確に把握・整理し、人材の発掘・育成など、必要な対策を講じなければならない」と整理させていただきました。</p> <p>③番として、生産基盤の問題や作業の機械化・省力化・効率化についてご意見をいただきましたことから、「既存農林漁業者の生産性向上を図るため、担い手への資源の集積、作業の機械化・省力化による経営規模の拡大、また、それらをより効率的に行うための生産基盤の整備など、収益が上がる農林水産業を目指すための施策の展開が望まれる」と整理しております。</p> <p>④番、TPPの現状についてご意見をいただきましたことから、「大枠合意に至った環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）は、現在その内容が不明なため、そのメリット・デメリットについてよく研究し、デメリットに対する対策だけでなくメリットも十分に生かせるよう機敏な対策を行う必要がある」と整理させていただいております。</p> <p>2番の「特性をいかした生産業の展開について」は以上でございます。</p>

部会長	2番「特性をいかした生産業の展開について」は、こういったまとめ方になっておりますが、皆様方からご意見、ご質問があればお願いしたいと思います。どうぞ、どんなことでも結構なので。はい。
委員	よろしいですか。
部会長	はい。
委員	TPPというのは内容がほぼ固まっていると思うんですけども、ここではまだ内容が不明なためとなっているんですが、その辺どうでしょうか。
事務局	総合計画の素案の議論の段階では不明確であったので、総合計画そのものについてはTPPの内容を反映していないような状態になっています。ですので、こういった書き方にしております。
部会長	総合計画の最終的な完成のタイミングに合わせた記載にしないといけないですね。
事務局	現在、素案にはTPPのことは書かれていませんので、その辺をどう判断するかというところもあると思います。
部会長	素案の中にはなかったんですかね。
事務局	はい。部会開催中にTPPの動きが出てきましたので。
部会長	どういう取扱にしたらいいのかな。総合計画が、正式に外部公表された時に、こういう文章ではちょっと違うという話になりますね。
事務局	これは一つの案ですので。
部会長	まあ、案ですからね、TPPについての影響は大きいので、これは入れないといけないけども、書き方をどうするかということですね。
委員	TPPについて素案は触れていないですが、先ほど事務局さんに渡したんですが、外部評価委員会の報告書でも意見が出ていますので、書き方を考えたうえで記載すべきだと思います。外部評価委員会の報告書は後で諮ってもらおうと思ったんですが、関連した議論になったので発言しました。
委員	こここのところ、修飾語を取っておけばいいと思うんですよね。「現在その内容が不明確なため」というのは当然要らないと思います。

委員	そうですね。
委員	そうです。そこだけ事前にとっておけば問題ないと思います。
部会長	そうですね。
委員	はい。③番の部分ですが、「産業の機械化・省力化による経営規模の拡大」の後、「収益が上がる」とありますけども、これ、収益とまたこれ利益は別と思うんですよね。だから、収益だけに目を持っていけば、当然それに対するいろんな費用がかかってきますので、収益と違った表現方法がないものかと私は思うんですけども。
事務局	前回の議論の中で、収益という言葉が言われたのでそのように表現させていただいております。
委員	「収益が上がる」ではなくて「収益につながる」という表現がいいかと思います。「つながる」だと、少し表現としてやわらかくなるかなと。
部会長	ありがとうございました。
委員	こういった方針が出た中で、これをしっかりと進めていくというのがやっぱり大切なことだと思うんですよね。ですから、今、意見等々出ていますけども、事務局を中心にではありますけど、我々もその辺十分考慮しながら議論しましたし、今後の方策にきちっとつながるように協力していかなければならないと思っております。
部会長	2番の「特性をいかした生産業の展開について」、これ以上よろしいでしょうか。  (はいの声)
部会長	はい、ありがとうございます。 それでは、3番の「活気ある流通・サービス業の展開」について説明をお願いします。
事務局	それでは、3番「活気ある流通・サービス業の展開」についてご説明いたします。 ①番として、インターネットビジネスや観光と商業の取組をつなぐ重要性についてご意見をいただきましたことから、「商業・サービス業においては、大型商業施設等の進出や高速交通体系の整備などにより市場競争が激化していることから、免税店の拡大などの観光と連動した施策の展開やインターネットによる商取引の積極的な活用により、域外からの消費を取り込むことが必要である」と整理をいたしました。 ②番として、周辺部における商店街振興、後継者問題についてご意見をいただきましたことから、「地域の商店街においては、空き店舗の増加や後継者不足などの問題が顕

	<p>在化する中、商業・サービス業の振興は、地域経済の活性化はもとより、地域におけるにぎわいや雇用機会の創出にもつながることから、地域性に配慮した商店街の活性化を図り、地域の均衡ある発展に向けて取り組むことが望まれる」と整理をいたしました。</p> <p>③番として、立地特性を生かした物流拠点としての充実についてご意見をいただきましたことから、「大分港大在コンテナターミナルや流通業務団地などの流通拠点は、各産業の活性化の基盤として今後ますます重要なものとなることから、関係機関との連携を強化する中、特性を生かした流通環境の整備やポートセールスに取り組むことが望まれる」と整理いたしました。</p> <p>④番、地産地消への取組や消費者ニーズの把握等についてご意見をいただきましたことから、「公設地方卸売市場においては、流通体系の多様化や消費形態の変化により取扱高が減少する中、観光や教育等との連携を通じて域内における消費を高めることにより、需要拡大を促進する必要がある」と整理をいたしております。</p> <p>「活気ある流通・サービス業の展開」につきましては以上でございます。</p>
部会長	はい、今、3番目の説明をいただきました。皆さん方からご質問、ご意見あればお願いをしたい。はい。
委員	これ、順序なんですけど、素案の中では、公設卸売市場が先で、コンテナターミナルが後になっていると思います。だから、逆転させて素案と順序を合わせたほうが良いと思うんです。
部会長	よろしいですか。
委員	あと、もう一つ。
部会長	はい、どうぞ。
委員	表現のイメージを教えてくださいたいんですが、②の下から2番目の「地域の均衡ある発展」というところなんですけど、均衡に何かこだわっているんですか。
事務局	地域の均衡というところですか。
委員	そうです、はい。
事務局	我々、中心市街地の活性化というのにずっと取り組んできておりました、中心市街地の活性化というのは、駅ビルもできる中で、ある程度の活性化が図れたと思っております。その一方で、郊外の商店街からいろんなご意見をいただいております。それで、もともとのスタンスとして地域の均衡ある発展というのがございましたので、もう一度その原点に立ち返るという意味で設けております。

委員	もともと均衡は無理じゃないですか。特徴を生かしたという話になってくると、均衡という言葉がちょっと適切ではないようなイメージなんですね。今まで使っていたとおっしゃっていましたよね、今ね。
事務局	はい、そうです。
委員	でも、均衡というのは多分明確にはちょっとイメージが違うと思います。
部会長	イメージが違いますよね。
委員	均衡にするのは無理だし、意味がないというか、言い過ぎるとそうなっちゃうんですけど、だから均衡という言葉がちょっと違和感があるんですよ。おっしゃるのはわかりますよ。中心部だけ、すごく発展して、周囲が取り残されているんじゃないかという、平等とか公平ということだと思いますけれども、均衡という言葉がちょっとニュアンス的に違うかなという気がしますので、ご検討いただければと思います。
部会長	それで、いい言葉がないですかね。
委員	平等も厳しいですしね。
部会長	平等も厳しいですかね。
委員	「特徴を生かし」とか、そういう表現ではどうでしょうか。
委員	そうですね。ニーズに合ったとか、要望に合ったというイメージじゃないかと思うんですけども、均衡と言った瞬間、たぶん皆さんも違和感がありますよね。なので、前回の表現を踏襲していてしょうがないというならしょうがないかなと思いますけど、真剣に読むと引っかかる気がしますよね。
部会長	均衡にしようというのは難しいですね。
委員	それに意味があるかという、そうではないような気がしますので、もしご検討いただければと思います。
部会長	僕も若干ここは違和感がありますね。
委員	そうですね、ちょっと違和感がありますね。
部会長	そこをちょっと検討してください。

委員	今、2番のところで、「地域の商店街」と、それから、最後のほうは先ほどご意見のあった「地域の均衡ある」と。地域というのは、中心部以外のという、そういう意味の地域という意味でいいですか。
事務局	そちらのイメージは強いと思います。中心市街地を全く入れていないというわけではないですけど、郊外の商店街というイメージになります。
委員	それであれば、そういうふうに書いたほうがいいと思うんですが。
委員	きっとあれですね、多分その言葉自体に差別化があるのではないかとということが配慮されているんだろうと思います。
部会長	はい、ほかに何か。はい。
委員	今の2番のことで。先ほどの地域の均衡というのは、行政としてお金についてはうまく均等に分けるよとか、いろいろな意味があるでしょう。そういうことからすると、例えば「地域全体の発展に向けて」とかはどうでしょうか。
委員	ああ、いいかもしれない。
委員	うん。そうしたら、均衡というところを含めて、地域全体の発展に向けて取り組むという、そんなイメージになるのかなと。
部会長	まあ、イメージとしてはそういうことですね。
委員	うん、そうですね、きっと。言わんとすることは。
部会長	各々が特徴のあることに取り組みながら、そして全体として発展していく。
委員	そうですね。ああ、いいかもしれない。
部会長	言っていることは多分そういうことなんだろうと思います。それについては事務局で表現について精査してください。 ほか、3番の「活気ある流通・サービス業の展開」についてご意見はありませんか。 それでは、3番の「活気ある流通・サービス業の展開」についても、意見が出ています、その辺を加味しながら加筆等々してもらって、事務局からまた提案をしてもらいたいと思います。よろしいでしょうか。
	(はいの声)

	<p>それでは、4番「安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実」について、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、「安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実」についてご説明をいたします。</p> <p>①番として、仕事と子育てや介護の両立ができる環境づくりの重要性についてご意見をいただきましたことから、「就労を希望する方が安心して働くことができるよう、仕事と子育てや介護などの両立ができる環境づくりに向けて、福祉施策と産業施策が一体となった就労支援を進めていくことが必要である」と整理いたしました。</p> <p>②番として、若年者の雇用環境についてご意見をいただきましたことから、「生産年齢人口が減少する中、若年者が生き生きと働くことができるよう、就労機会の拡充や安定した雇用の確保が望まれる」と整理をしております。</p> <p>「安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実」については以上でございます。</p>
部会長	<p>はい。「安定した雇用の確保と勤労者福祉に充実」について、皆さん方からご意見、ご質問がありましたら、はい。</p>
委員	<p>素案を見ると、主な取組の中項目が就労支援、勤労者福祉の充実になっていますね。それで、文章の文脈を見ると、①と②が逆なのかなと思うんですが、ただし、①のほうが就労支援という言葉で締めくくられているので、文章をよく推敲されて、①と②を取りかえるか、①を後ろにするのであれば、その福祉のほうの文脈の後ろの語尾を変えるなどして合わせたほうがいいんじゃないかと思うんですけど。</p>
部会長	<p>事務局。</p>
事務局	<p>そうですね。記載方法については、全てにおいて計画の記載順に沿うような形で一度見直しをさせていただきたいと思います。</p>
委員	<p>いいですか。</p>
部会長	<p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>①なんですけども、福祉施策と産業政策が一体ということで、その前、仕事と子育てや介護などの両立と書いていますが、実際これは、多分国のいろんな制度改定がないと、総合計画をつかったけど、まだそれはできてないと、実際なったときに対応できないじゃないですか。その辺はどうなんですか。</p>
事務局	<p>そうですね、前回の会議の中で、一つ委員さんの中から、仕事と子育てや介護、両立、そういうところの施策と一体となって雇用施策を進めていかないと就業率の向上というのは望めないですよというご意見がありましたので、基本的にはその意見をそのまま取り入れた形にしております。</p>

	<p>おっしゃるように、仕事と子育て、介護に限らず、雇用施策においては我々単体で解決する事業というのはほとんどありませんので、いずれにしろ、国の機関のハローワークですとか、県との連携というのが必要になるということは間違いないと思います。</p>
部会長	<p>この書き方で大丈夫ですか。</p>
委員	<p>それをね、心配するんですよね。</p>
事務局	<p>この提言については、あくまで委員の皆様からの意見として提言書としてまとめる形になりますので、そういった面では大丈夫かと考えております。</p>
部会長	<p>はい、どうぞ。</p>
事務局	<p>事務局からお願いですが、雇用の部分が提言の内容としてちょっと薄くなっているといえますか、意見が若干少ないので、もう少しご意見をいただければと思います。よろしくお願いいいたします。</p>
部会長	<p>確かに他の章や節に比べたら薄いですね。どうぞ、何かこれを追記とか追加をしてほしいというのがあれば、どうぞ。</p>
委員	<p>前回も出したんだけど、若者が大分で働きたいと思うようなそういう取組が必要だといったことを入れてもらいたい。</p>
部会長	<p>あとは何かありますか。特段よろしいでしょうか。  それでは、4番についても、順序の入れかえやご提言がありましたので、それを入れるような対応をします。  それでは、5番目であります「魅力ある観光の振興」について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、「魅力ある観光の振興」についてご説明いたします。  ①番として、観光大使など発信力のある人材を活用した情報発信についてご意見をいただきましたことから、「観光については、さらなる観光誘客のため、知名度のある観光大使などの情報発信を積極的に行い、本市の知名度の向上を図ることが求められる」と整理しております。  ②番として、ターゲットの明確化についてご意見をいただきましたことから、「外国人観光客を増やす取り組みについては、どの国から呼び込みたいのかといったターゲットを明確にして本市の魅力を発信することが必要である」と整理しております。  また、③番として、多くの観光客が見込まれるイベントを見据えた受入体制の整備についてご意見をいただきましたことから、「2019年のラグビーワールドカップや2020年の東京オリンピックを見据え、観光案内版の多言語化や免税店を増やす取組など、外国人観光客が本市を観光しやすい環境を整えることが求められる」と整理をして</p>



	<p>おります。</p> <p>「魅力ある観光の振興」につきましては以上でございます。</p>
部会長	<p>それでは、「魅力ある観光の振興」について、皆様方からご意見、ご質問があればお願いいたします。それからまた、追加で提言の中に載せてもらいたいというものがあればお願いします。</p>
委員	<p>前回のときもちょっと言ったんですけども、現状の情報発信が一番大事だと思います。特に、SNSですね、ネット関係でどんどん発信するというのがものすごく大事な部分なので、何かいい言葉で入れられれば、ぜひ入れてほしいと思います。</p> <p>あとは、ラグビーワールドカップは4年後の話ですけども、今、五郎丸選手のおかげで非常に盛り上がっています。それまで日本人のラグビーのファンは非常に少なかったんですね。それで、この盛り上がりや活気がもたないと思うんです。外国人に関しては、当然すごいメンバーが来ます。その受入体制をしっかりとっておかないといけないんですが、国内の機運の盛り上げは今から取り組まなければいけないことだと思うので、どのように盛り込めばいいのかわからないんですけども、気になります。</p>
部会長	<p>いいですか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委員	<p>受入体制ということで、前回、民泊についてのご意見もあり、先ほど事務局から回答があったんですが、ホテルが増えているとか。だから、民泊というのは、大分市も条例とかつくっていかないといけないので、やっぱり受入体制という意味で触れていたほうがいいのかなど。</p> <p>ここは、外国人観光客が本市を観光しやすいだけではね、そのしやすいに含まれるのかもしれないんだけど、受入体制とかね、ワールドカップ、書いているので、ちょっと入れていたほうがいいのかと思います。</p>
部会長	<p>ほか何かありますか。今までの6回の中で、各々の部門ごとに意見を言われていますので、大体その中で意見も出尽くしたものをまとめてもらって、それで、さらにまとめてこういう形になっているので、なかなか出ないとは思いますが、特段よろしいでしょうか。</p> <p>(なしの声)</p>
部会長	<p>それでは、「魅力ある観光の振興」についても、先ほど意見が出てきましたので、チェックをしながら、事務局のほうで、情報発信の中でも例えば具体的にSNSとか入れたほうがいいのかどうかとかいうことも含めて検討してみてください。</p>

事務局	<p>先程ご意見をいただいた内容については主な取組の「観光大使など」のところに包含されているような形で書いていると思いますが、そこを抜き出して具体的な記述をするかどうか検討させていただきたいと思います。</p>
部会長	<p>そこは、でも、具体的に落とさないほうが良いということになるのかもしれないですけど。はい、ありがとうございました。</p> <p>一応中間の提言（案）につきましては、皆様方からご意見をいただきましたが、全体として何か言い残したことがあるとかあれば承りたいと思いますが。特段よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（なしの声）</p>
部会長	<p>それでは、こういう形で先ほど皆さん方から各々の中でご意見をもらったものをもう一回修正をして、事務局でまとめていただきたいと思います。</p> <p>それでは、その他、次回の日程等につきましては、その前に「行政評価に関する外部委員会からの報告書」というのがありますので、これにつきましては、まさに外部評価されているわけですから、これの中に入ったものについてはできるだけこの中に入れとかんといけないと思います。</p> <p>これは皆さん方には配布されていないかな。</p>
事務局	<p>そうですね。本日お配りすることができておりませんので、事務局の中で産業部会に関する場所をまとめた上で、文書でまた事前に発送させていただきたいと考えております。ですので、それを見ていただいた後、本日いただいた意見等の修正も一緒にお送りしたいと考えておりますので、次回の開催までに、修正箇所であったり追加のご意見であったりというのをご検討していただければと考えております。</p>
部会長	<p>それでいいですか。</p>
委員	<p>はい。</p>
部会長	<p>それでは、次回の日程等々につきまして事務局からお願いをしたいと思います。</p>
事務局	<p>それでは、今後の日程についてご説明をさせていただきます。</p> <p>本日議論していただきました産業部会からの中間提言（案）につきましては、先ほど申し上げましたとおり、修正等を加えまして、また、外部評価の意見等もあわせた形で、事前に委員の皆様方に送付をさせていただきたいと考えております。</p> <p>当初のスケジュール案で行きますと、次回の第6回の産業部会が産業部会としての最終回の予定でございます。その中で調整後の中間提言についてもご報告をさせていただきたいと考えております。</p>

	<p>その際に、あわせて中間提言をベースに作成することになります最終提言の素案についても事務局のほうでご準備をさせていただこうかと思っております。委員の皆様にも最終提言としてご覧いただき、ご検討をお願いしたいと考えております。</p> <p>次回は、11月27日金曜日14時から、場所は同じくこちらのアートプラザの2階研修室で行いたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。</p>
部会長	<p>議事については一応全て終わりましたので、事務局のほうにお返しをします。</p>
事務局	<p>委員の皆様につきましては、ご審議ありがとうございました。</p> <p>これをもちまして第5回の産業部会を終了いたします。</p> <p>誠にありがとうございました。</p>
部会長	<p>非常に短時間にスムーズに終わりました。ご協力ありがとうございました。</p>